

FOODEX JAPAN 2016への 出展について

雑穀輸入協議会

国連による2016年「国際マメ年」制定を踏まえ、当協議会では、本年3月に開催された「FOODEX JAPAN 2015」に「世界の豆」をテーマに初めて出展参加しましたが、来年が国際マメ年の制定年であることから、来年3月に開催予定の「FOODEX JAPAN 2016」に引き続き出展する予定ですので、その概要を紹介します。

1. 「FOODEX JAPAN／国際食品・飲料展」の概要

1976年から毎年開催しているアジア最大級の国際食品・飲料展示会であり、2016年で41回目を迎えます。

正式名称：FOODEX JAPAN 2016（第41回 国際食品・飲料展）

開催期間：2016年3月8日（火）～11日（金）10:00～17:00（最終日16:30）

開催場所：幕張メッセ

千葉市美浜区中瀬2-1

予定来場者数：75,000名（2015年実績：77,361名）

出展者数：2,500団体（2015年実績：2,977団体（国内1,166、海外1,811））

出展参加国：75ヵ国・地域（2015年実績79ヵ国・地域）

主催：一般社団法人日本能率協会ほか5団体

後援：外務省、厚生労働省、観光庁ほか

2. 雑穀輸入協議会の出展計画

前回「FOODEX JAPAN 2015」は、「国際マメ年」制定を機に当協議会に設置された国際豆年推進委員会において出展計画を作成し参加しましたが、今回も同様に国際豆年推進委員会を中心に、出展計画を作成中です。

(1) 出展テーマ：世界の豆

(2) 出展のポイント

豆類の認知度アップを目標に、以下の4つのコーナーを中心に展示を行います。

○2016年「国際豆年」の認知度アップ

○世界の多様な豆類の紹介

○豆の栄養と機能性のアピール

○世界の主要な豆料理の紹介

(3) キャッチコピー

前回同様、「豆は、あなたの元気と健康の源！ (Pulses make you stronger & healthier)」とします。

(4) 出展内容

以下のコーナーにおいて、豆に関する各種の展示、資料配付、試食等を行う計画です。

○2016年「国際マメ年」コーナー

「国際マメ年」のロゴ入りタペストリーやポスターの展示とともに、リーフレットなどのアピール用グッズを配布します。

○世界の多様な豆類のコーナー

世界各地で生産、流通、消費されている様々な豆の標本や写真を展示して紹介します。

また、世界各地で生産される主要な豆を、「国際マメ年」をアピールするロゴ入りの小袋に入れて配布します。

○豆の栄養・機能性コーナー

豆の持つ優れた栄養・機能性についてまとめた冊子やリーフレットの配布と、機能性等について解説したパネルや主な豆加工品サンプルを展示します。

○世界の主要な豆料理のコーナー

煮込む、揚げる、炒めるなど様々な調理法により世界各地で食べられている豆料理を解説した冊子の配布や写真を展示して紹介します。

また、前回好評であった鹿の子入りヨーグルト、とら豆・大地の恵み、とら豆入り十六穀ごはん、豆カレースープ、手亡入りコーンポタージュスープなどの試食や小豆茶などの試飲を予定しています。

3. 今後の進め方

出展計画の具体的な内容については、今後、前回不備であった点を改善し、より良いものとなるよう「国際豆年推進委員会」を中心にとりまとめ、年明けには成案としたいと考えています。

会期中、是非、皆様もお運び下さいますようお願いいたします。



前年度の光景